

NEC

2012 年 6 月 版 1 版

N8043-04 ラックコンバージョンキット（両面搭載）

ユーザーズガイド

はじめにお読みください

本製品の使用につきましては、本書や Express サーバに添付のユーザーズガイドを参照の上ご使用願います。 また、ご使用の前に「使用上のご注意」を必ずお読みください。 本書をお読みになった後は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いて置くようにしてください。

使用上のご注意（必ずお読みください）



本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全に関わる表示について




本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険で、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。



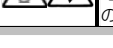
本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。 それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。


危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。 それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。






	<b>注意の喚起</b>	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。 記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
	<b>行為の禁止</b>	この記号は行為の禁止を表します。 記号の中や近くの絵表示は、禁止された行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
	<b>行為の強制</b>	この記号は行為の強制を表します。 記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。 危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜け




（本書での表示例）

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	<b>注意</b>	
	<b>指定以外のコンセントに差し込まない</b>	
	電源は指定された電圧、指定のコンセントをお使いください。 指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	




本書およびラベルで使用する記号とその内容

	感電の恐れがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

	本製品を分解・修理・改造しないでください。 感電や火災のおそれがあります。		濡れた手で触らないでください。 感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定した場所以外には触らないでください。 感電やけがなどの障害のおそれがあります。
	指定しない一般的な禁止を示します。		

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。 説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。 感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

	<b>警告</b>
	<b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない。</b> 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。 これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
	<b>海外で使用しない。</b> 本製品は、日本国内専用の装置です。 海外では使用できません。






電源・電源コードに関する注意事項

	<b>警告</b>
	<b>ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルを持たない。</b> ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。
	<b>注意</b>
	<b>ケーブル部分を持って引き抜かない</b> ケーブルを抜く時はコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブルを持って引っ張ったりコネクタに無理な力を加えたりするとケーブルが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
	<b>指定以外のコンセントに差し込まない。</b> 電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。 指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。 また延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。 本製品の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
	<b>たこ足配線にしない。</b> コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
	<b>中途半端に差し込まない。</b> 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。 中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因になることがあります。 また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	<b>指定以外の電源コードを使わない。</b> 接続対象装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。 電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コードを引っ張らない。</li><li>● 電源コードを折り曲げない。</li><li>● 電源コードをはさまない。</li><li>● 電源コードをねじらない。</li><li>● 電源コードに薬品類をかけない。</li><li>● 電源コードを改造・加工・修理しない。</li><li>● 電源コードの上にものを載せない。</li><li>● 電源コードをｽｰﾌﾟ等で固定しない。</li><li>● 電源コードを束ねたまま使わない。</li><li>● 電源コードを踏まない。</li><li>● 損傷した電源コードを使わない。</li></ul> （損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。 交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）






ラックキャビネットの設置・取り扱いに関する注意事項

	<b>注意</b>
	<b>一人で搬送・設置をしない。</b> ラックの搬送・設置は 2 人以上で行ってください。 1 人で搬送・設置するとラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。 特に高さのあるラック（44U ラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。 必ず 2 人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
	<b>ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない。</b> ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
	<b>一人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する。</b> ラック用のドアやレールなどの部品は 2 人以上で取り付けてください。 また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。 部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。
	<b>荷重が集中してしまうような設置はしない。</b> ラックおよび取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、耐震固定を施してください。 複数台のラックを使用している場合は連結して荷重を分散してください。 ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
	<b>複数台の装置をラックから引き出した状態にしない。</b> 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。 装置は一度に 1 台ずつ引き出してください。
	<b>定格電源を越える配線をしない。</b> やけどや火災、装置の破損を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を越えないようにしてください。 電気設備の設置や配線に関しては、管轄の電力会社にお問い合わせください。






ラックへの設置・取り扱いに関する注意事項

	<b>警告</b>
	<b>指定以外の場所で使用しない。</b> 本製品は EIA 規格に適合した 19 インチラックに取り付けて使用します。 本製品を取り付けるラックは設置環境に適していない場所に設置しないでください。 本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。 設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。
	<b>規格以外のラックで使用しない。</b> 本製品は EIA 規格に適合したラックに取り付けて使用します。 EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに固定せずに使用したりしないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。
	<b>注意</b>
	<b>指を挟まない。</b> ラックへの取り付け/取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。




設置・移動・保管・接続に関する注意事項

	<b>注意</b>
	<b>指定以外の場所に設置・保管しない。</b> 本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。 火災の原因となるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ほこりの多い場所。</li><li>● 直射日光が当たる場所。</li><li>● 湿気の多い場所。</li><li>● 不安定な場所。</li></ul>
	<b>サーバの電源がONのままや、電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない</b> インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは本製品やサーバの電源を OFF し、電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。 たとえ電源を OFF にしても電源プラグをコンセントに差したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりするおそれがあります。
	<b>指定以外のインタフェースケーブルを使用しない。</b> インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。 指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。 また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ケーブルを踏まない。</li><li>● ケーブルの上にものを載せない。</li><li>● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。</li><li>● 破損したケーブル・コネクタを使用しない。</li><li>● ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。</li></ul>
	<b>腐食性ガスの発生する環境で使用しない。</b> 腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する環境に設置し、使用しないでください。 また、埃や空气中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本製品内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。 もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

お手入れ・取り扱いに関する注意事項

	<b>警告</b>
	<b>自分で分解・修理・改造はしない。</b> 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	<b>電源プラグを差し込んだまま取り扱わない。</b> お手入れの際は、本製品やサーバの電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 たとえ電源を OFF にしても、電源プラグを接続したまま本製品に触ると感電する恐れがあります。 また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布で埃やゴミをよくふき取ってください。 埃がたまったまま水滴などが付くと過熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	<b>注意</b>
	<b>中途半端に取り付けない</b> 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

ご使用中の注意事項

	<b>注意</b>
	<b>雷が鳴ったら触らない。</b> 雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。 また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて製品には触れないでください。 火災や感電の原因となります。
	<b>不要な物を置かない。</b> 本製品の上にジュース等が入った缶やコップ等の不要な物を置かないでください。 コップの中の水などがこぼれると、サーバが正常に動作しなくなるばかりでなく、火災や感電の原因になります。

製品の譲渡と廃棄について

**第三者への譲渡について**  
本製品を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付の部品なども一緒にお渡しください。

**製品の廃棄について**  
本製品は、金属を使用しております。 本製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。 詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

## セットアップの流れ

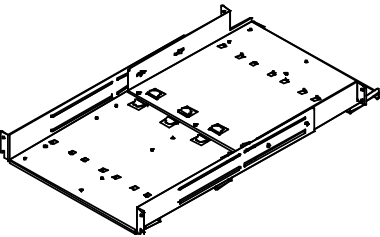
本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。 このユーザーズガイドに従って作業してください。

### Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっている事を確認してください。

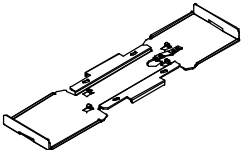
●ユーザーズガイド（本書） × 1 枚

●トレイ × 1 個



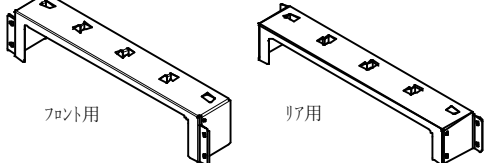
●スライダ × 8 個

（装置底面に取付、装置をスライドさせる為に使用）



●ガードプレート × 計2 個（前後各1 個）

（装置の飛び出し防止、固定する為に使用）



●ネジ（M5×10） × 21 本（予備2 本含む）

●コアナット × 1 8 個（予備2 個含む）

●ラベル（装置用） × 8 枚（予備無し）

●ケーブルタイ（装置用） × 8 枚（予備無し）



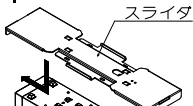
本製品の取り付けにはプラスドライバを使用します。

6. 接続対象装置に取り付けられているスタビライザを取り外して下さい。つぎに装置にラベルが貼り付けられていることを確認後、スライダを装置のリア側から、ロックするまで、押し込んでセットして下さい。



接続対象装置は、53Xg/Y53Xg、51Ea/Y51Ea、53Xh/Y53Xh、51Eb/Y51Eb です。

- 上記装置以外は取り付けることが出来ません。



ラベル（装置用）

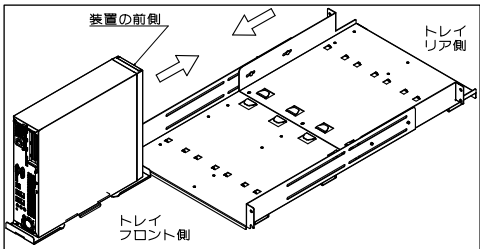
- ・ラベルへの記載内容
- ・ラベルの貼付方向

については、下方の「ラベル貼付詳細図」を参照願います。

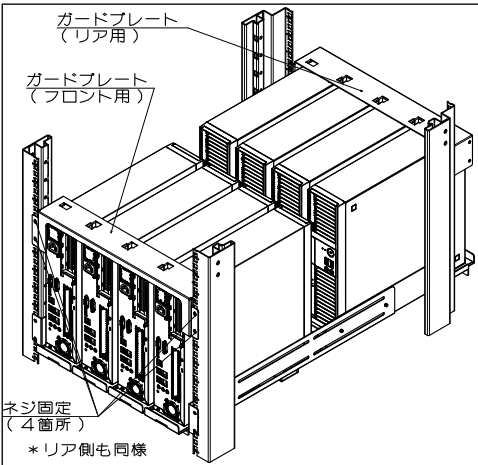
接続対象装置

ラベルの貼付確認

7. トレイのフロント側、及びリア側より、接続対象装置（前側）を奥側へスライドさせて、ストップするまで押し入れます。



8. ガードプレートをラックにネジ止め（全8 箇所）します。



（装置を8 台搭載した例）

### 重要 「搭載装置へのラベル貼り付け」

本製品へ搭載した装置を修理に出されるときは、銘板に記載された情報が必要となります。

装置を搭載した状態で、装置側に貼り付けてある銘板に記載された情報を確認できるようにするため、装置を搭載する前に、本製品に添付している装置用ラベルに、以下にて、銘板の内容を転写し装置へ貼り付けてください。

1. 本製品へ搭載する装置の銘板に記載されている情報を本製品に添付しているラベルへ転写してください。

2. ラベルを搭載する装置へ貼り付けてください。

（注）詳細は、Step 3 の下方に記載している「ラベル貼付詳細図」を参照ください。

### Step 2 設置

本製品はEIA 規格に適合したNEC 標準ラックに取り付けて使用します。

次の条件が守られたラックであることを確認した後、本製品を取り付けます。



取り付けるラックが以下の条件を満たしていることを確認した後、本製品を取り付けてください。

- 前後1m以上、左右60cm以上、高さ40cm以上のスペースがある。
- 室内温度10℃～35℃、湿度20%～80%の範囲を保てる場所である。

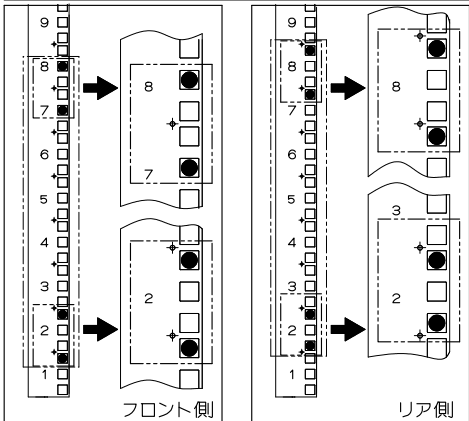


キット取付時には以下の点に注意してください。

- 本製品(キット)の取り付けには、8.4U 分のスペースを使用します。

1. ラックにコアナットを取り付けます。 梱包箱に添付されているコアナットを使用して、本製品を取り付ける8.4U のスペースを確認し、前のマウント部分に8 個（片側に4 個）、後ろのマウント部分に8 個（片側に4 個）取り付けます。

コアナット（●印）の取り付け位置（例）

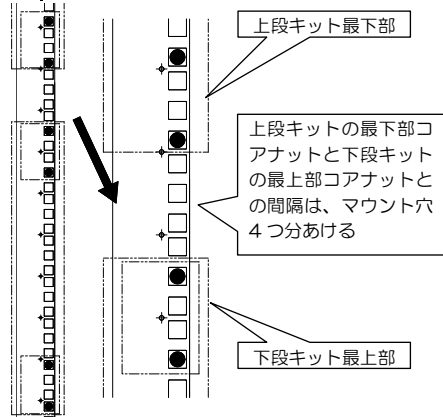


コアナットは引っ掛け部が上下にくる向きに取り付けるようにしてください。



多段取付時には以下の点に注意してください。

- 下図を参考にキット間のコアナットを取り付けてください。



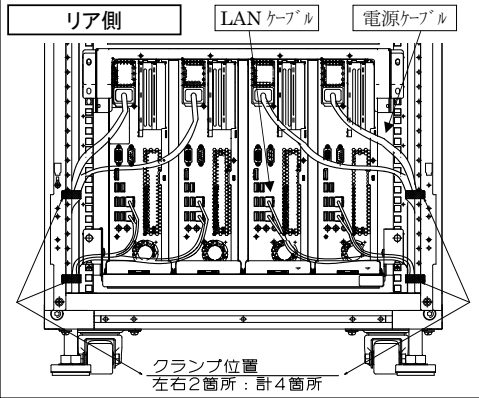
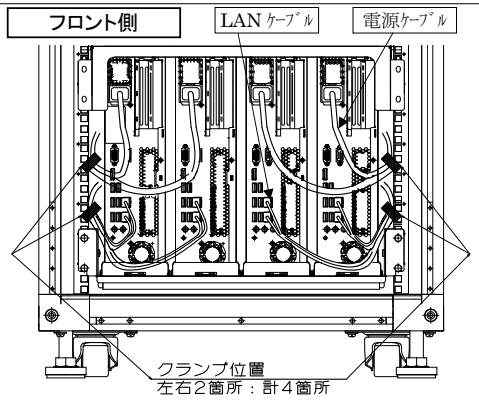
（引っ掛けイメージ図）

2. ケーブルタイに各ケーブルを固定します。



ケーブル固定時は以下の点に注意してください。

- 4 台のうち、右側2 台は右側ヘクランプし、左側2 台は左側ヘクランプ下さい。
- 電源ケーブルは、上側のケーブルタイで固定し、LAN ケーブルは、下側のケーブルタイで固定して下さい。
- ケーブルフォーミングには余裕を持たせ、ケーブルに負荷をかけない下さい。
- 4 台のうち、左右の外側装置をラックから脱着する場合、内側装置の電源ケーブル、LAN ケーブルなど、接続しているケーブルの余長を十分に確保してから実施してください。余長を確保できない状態で着脱を行うと、運用中の装置の電源ダウンやショートによる火災を起こしたりする危険があります。接続ケーブルの余長が確保できない場合には、内側の装置をシャットダウンした後、左右の外側装置の着脱を実施して下さい。
- 電源ケーブルとLAN ケーブルは、同じケーブルタイに一緒に固定しないで下さい。

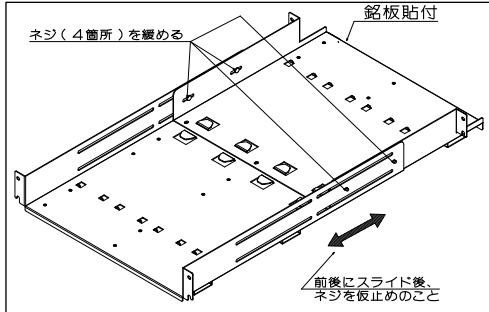


### 注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

2. 取り付けたコアナットの内、各箇所一番下のナット（前2箇所、後2箇所）に添付のネジを仮止めします。

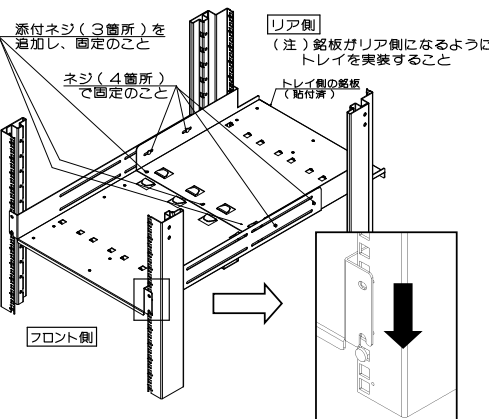
3. トレイの側面に固定されているネジを全4 箇所緩めます。（片側各2 箇所）



4. 折り返し部分をラックに挟み込むようにして手順1 で仮止めたネジに引っ掛け、リア側→フロント側の順にネジ止め（上下2 箇所ずつ、合計8 箇所）します。

（注）トレイをラックへ実装する際には、トレイの向き（前後）に注意してください。トレイ銘板側がラックのリア側になるようにセットしてください。

5. トレイの中央部にて、ネジ止めします。まずは、中央部水平面にネジ（3 本）を追加し、その後、手順3 で緩めたトレイ側面のネジ全4 箇所を締めます。



（引っ掛けイメージ図）

3. その他



増設PCI ボードなど、追加になるケーブルを接続時には、以下の点に注意してください。

- 増設したPCI ボードなどのインターフェースケーブルがラックの扉（ドア）に接触して、ケーブルに負荷がかかる場合があります。この場合、ラックの扉（ドア）を取り外して運用してください。ケーブル（コネクタ）に過大な負荷がかかると、ケーブルが破損し、火災や感電の原因となる恐れがあります。

### 保守について

#### 保守用部品について

本製品の保守用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5 年です。

N8043-04

ラックコンバージョンキット（両面搭載）

ユーザーズガイド

2012 年 6 月 1 版

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7 番1 号  
TEL (03) 3454-1111（大代表）

©NEC Corporation 2012

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。